

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ラ・ボール		公表日		2026年 5月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・運動、工作、外遊びに応じて、部屋を使い分けています ・児童がわかりやすいように静と動の活動部屋を分けています	・今後は遊び道具の収納面をもう少し工夫していきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・児童一人ひとりのやりたい事が出来るような職員の配置を行っています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・部屋の接続部分にある段差にマットを敷いて対策をしている ・ホワイトボードを設置し、誰にでも児童の活動が見える工夫をしています ・活動の内容によって使う部屋を分け、活動が切り替えやすいよう工夫しています	・構造化、環境配慮等は行われているがバリアフリー化は必要に伴い検討してまいります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・児童が心地よく過ごせるよう環境を整えています ・汚れた時に児童もすぐに掃除しやすいように道具を配置している	・今後も遊ぶ道具・部屋などのメンテナンスや清潔に保つための拭き上げ等を適宜、行うようにしてまいります
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・児童の要望があれば職員の事務室を宿題や面談をする場所を提供しています ・ホワイトボードに場所予約を行い、平等に場所を利用できるよう工夫しています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・毎日の朝礼・終礼にて、綿密に振り返りを行っています ・室内・外での活動についてのアイデアや考慮すべき点など密にMTGを行っています	・今後も職員が参画しやすいよう研修・勉強会等を増やしてまいります
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者様が意見を言いやすいような環境を心がけています ・MTG等で児童・保護者様の情報を共有できるようにしています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・支援で気になった事や疑問点など、相談等が行いやすい環境が作られています	・今後も意見を述べやすい環境を継続・発展できるよう対応してまいります
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・今後、取り組んでいけるように検討して参ります
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・オンライン研修を受ける際はプロジェクターを使用して全員で研修を受けられるようにしたり、外部研修の紹介や受講できる環境があります ・オンラインでの研修にも積極的に参加できるように配慮しています	・研修で使われていた資料の共有、勉強会などの振り返りを行い、受講していない人も知識・意識向上できる環境をつくっていきます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・支援プログラム作成は児発管だけではなく職員間での共有を行い、さくせいしています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・児発管・保護者・支援員の情報共有を密に行い、計画を作成しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・事業所会議等で、課題について話し合いを行っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画の段階で現場職員の意見を取り入れその内容を現場にフィードバックできるようにしています	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・将来的にはバイナランド等のツールを導入ができるように検討していきたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・地域の児童館や図書館を利用して地域の子ども達と交流する場を設けています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・朝礼時に1日の流れを話し合い、みんなで活動内容を決めています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・職員だけではなく、児童がやりたいことなど、いろいろな意見を言える環境をつくっています ・児童の興味を支援員同士で共有して活動に反映しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・こどもの状況に合わせ、個人での活動・集団での活動を切り分けて支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝のMTGにて見立てを行い、準備、シミュレーションを行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援後、その日の支援内容について記録に残し、早急に対応しなければいけない点については即共有し、細かい部分は翌日の朝礼にて活動の振り返り・共有を行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日報、支援記録は必ず行い、朝礼時などに児童の行動で気になった事や出来事の共有、次の支援につなげる話し合いを行っています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・支援会議、モニタリング会議を行い、現場の意見や保護者様の意見を取り入れながら検討を行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		地域の児童館を利用したり、海活動など、多様な遊びを経験する環境を心がけています	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・児童が主体的に活動を選んでいく環境を設けています		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・必要に応じて現場職員の参加を行っています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	・学校との連携は行っています	・今後は他機関との連携も少しずつ取り組んでいきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・下校時間の確認を学校のホームページで確認したり、先生がいる際には下校時間の変更の確認、学校での様子を確認しています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		・就学前に利用していた保育所等との情報共有を行ったことはないが、必要があれば対応していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		開・所してから学校卒業児童がいないので今後、対応児童が出た場合は情報提供できるようにしていきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		・今後は検討していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		・児童館を利用して地域の児童との交流は定期的に行えています	・児童クラブとの交流を行った事がないで機会を作れるようにしていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・定期的な部会等への参加を行っています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・その日あった出来事は、当日や翌日の朝礼等で振り返りの時間を設けています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・保護者向けの研修等があった際は情報を発信してまいります
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時にご説明し、後日に疑問がでた際は気軽にご連絡して頂くよう話しています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・アセスメント、モニタリング、送迎時に情報交換を行いサービス提供および作成に意向を反映させるように心がけています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・契約時にご説明。後日に疑問がでた際は気軽にご連絡頂くよう話しています	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・送迎等引き渡しの際、その日の出来事を共有し、必要に応じては保護者様からの相談等、行っています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		・年に一度でも事業所内での祭りや保護者同士が交流できる場を設置できるように努力していきます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			・運営規定にも記載し周知している。もし訴えがあった場合は迅速に対応できるように努めています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・日々の活動をHP上に掲載している。連絡体制についてはシステムを導入して個別対応しています	・イベントを計画・実行して保護者へ発信していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・PC、記憶媒体等を施設外に持ち出さないように留意しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・児童の送迎時のやりとり、システムなどを利用してその日にあったことや困りごとなどの共有ができるような体制を整えています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・現在、ほとんど行っていない状況なので次期においては地域との連携が図れるように検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・マニュアルの策定を行い、HP上に掲載して訓練も数回行っているが家族への周知が行われていないので、今後、訓練を行った際にはお伝えしていきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPの策定を行い、施設内での周知、研修を行いシミュレーションは行っています ・HPにも内容を掲載しています	・消防のイベントに参加し、訓練の重要性を実感できたので、今後も訓練を行っていきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時のアセスメント時に状況確認を行っています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・アレルギーがある児童は保護者と情報共有して対応を行っています	・現在は重篤症状のある児童はいないが、利用になった場合は密に連携していきたい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・安全計画を作成してHPへ掲載し、研修にてシミュレーションを行っています	・今後も安全に配慮して行動出来る様に努めます
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・安全計画を作成し、HPへ掲載しています	・HPへ掲載しているがその取り組みについて家族への周知がなされていないので今後は情報発信まで行い家族への周知に努めたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット報告書を作成し、記録として残し、再発防止に向けてMTGを行い、必要に応じて研修も行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・県の虐待研修への参加、その他の研修への参加を通じて事業所内でMTGや研修を行い、対応に努めています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・契約時に保護者への説明を行い、書面にて確認しています ・事業所でも研修を行い、どの状況が身体拘束になるかを周知しています		